

シリーズ:盗難対策

セキュリティは自分に必要な機能で選ぶ

経験豊富なプロショップで訊く



第4回

二重三重のセキュリティで愛車をドロボーから守れ

何らかの防犯装置を付けているクルマよりも防犯意識のないクルマのほうが、圧倒的に盗難被害にあっていることは前号でもデータを示した。最近では純正または純正オプションという形でカーセキュリティが用意されているクルマもある。たとえばイモビライザーやスモークトキなど、専用のキーがなければエンジンが起動できないシステムが、かなり大衆的なクラスのクルマにも導入され始めている。またカギ穴からのキーの複製が難しい設計のクルマも増えている。

ウィンドウを叩き割るといった強引な手段に対しては、衝突時飛散防止技術を活用した、たとえガラスが割れてもそこから手やカギが車内に入りにくい加工を受け付ける正規ディーラーもあると聞いている。

いずれにしても防犯意識はクルマを販売する側にも浸透しているのは事実だろう。しかし、自動車盗難の実情に詳しい人物によると

「たぶん純正の技術は、導入されれば3ヶ月で競る業者が出てきますよ。どのようなシステムをのこは、どうしたって公表されますし、実装するクルマは街中を走っているわけですから、純正のセキュリティだけでは、愛車は守れませんね」

さうばりとは聞かされている。確かに無防備なクルマは危険な状態にある。しかし、セキュリティがついているクルマでも、割合で少ないものの、盗まれている。だからこそもう、純正セキュリティの導入車でも、もうひとつ、いやふたつ以上でもセキュリティはつけていたほうがいい。もちろん、市販のセキュリティについても、ドロボーの技術の更迭とフタをこころではある。が、これも前号で触れたが、

カーセキュリティの必要性を充分に認識しつつ、なかなか取付けには消極的な人が多い。それは、一般に「誤作動」と呼ばれている、不審者の接近や侵入以外での発報を心配したり、「どこに任せたらいいのだろう」とか、「オプションはどうしたらいいのだろう」という悩みをクリアできずにいるからだ。どんなに高価で高性能なカーセキュリティも、セッティングがそれぞれの実情に合っていなければ単なる宝の持ちぐされでしかない。

SOUND CONNECTION

サウンドコネクション

高級カーセキュリティの
ハイパーシリーズの取付け実績が
日本屈指のサウンドコネクション
ここにはノウハウと経験と最新の
取付けテクニックがある



◆サウンドコネクション ☎03-45-263-6345
<http://www.soundconnection.co.jp>

Text / Fuzao OBITSU
Photo / Yuzaka MURAKAMI
Illustration / KIYO